

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東  
 コード番号 9928 URL https://www.mjs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 寺沢 慶志 TEL 03-5361-6369  
 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,825	21.2	3,876	30.7	3,928	30.2	2,607	34.1
2019年3月期第2四半期	15,530	11.8	2,965	10.4	3,016	14.1	1,944	17.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,586百万円 (42.0%) 2019年3月期第2四半期 1,821百万円 (3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	84.45	73.50
2019年3月期第2四半期	62.25	60.41

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	39,146	19,591	50.0	634.38
2019年3月期	38,211	18,058	47.2	584.51

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,584百万円 2019年3月期 18,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	8.6	6,200	20.0	6,200	22.6	4,040	8.3	130.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	34,806,286株	2019年3月期	34,806,286株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,933,557株	2019年3月期	3,933,510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	30,872,746株	2019年3月期2Q	31,236,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益が高い水準を維持し、雇用・所得環境も改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、海外経済の動向や金融・財政政策に関する不確実性の高まりによって、景気の先行きは不透明な状況にあります。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界においては、企業における人手不足への対応や働き方改革への取り組みなどを背景に、生産性向上や業務効率化を目的としたIT関連投資を含む設備投資の増加が期待されるなど、事業環境は改善傾向にあり引き続き堅調に推移することが見込まれます。

このような経営環境の下、販売力や製品・サービス力の向上により既存顧客との関係維持、満足度向上を図るとともに、新規顧客の開拓による顧客基盤の拡大とこれらに伴うサービス収入の増大、収益基盤の更なる強化に努めました。

販売面では、「消費税法改正・軽減税率制度」や「IT導入補助金」など、お客様の関心の高い分野のセミナーを開催するとともに、当社主催の全国総合フェア「MJS Solution Seminar & Fair 2019」の開催、各種総合イベントへの出展等を行うなど積極的な販売促進活動を行いました。また、地域経済の活性化を目的に地域金融機関との業務提携を推進し、各種ソリューション・サービスの提供を通じて中小企業の事業活動を支援しました。さらに、2020年1月に迎えるWindows7のサポート終了や消費税率の引上げを前に、社内IT環境の整備や業務改善に対するお客様のIT投資意欲が高まる中、財務会計システムを中心とする主力ERP製品やクラウドサービスをはじめ、PC・セキュリティ商品、保守サポートに至るまで、総合的なソリューション・サービスの提供に努めました。

開発面では、本年10月から実施された消費税率の引上げや軽減税率制度導入への適切なシステム対応を行い、お客様への説明やお問い合わせに関しても万全な体制の下に対応を行いました。また、新たなサービスとして、集金を代行するクラウドサービス『楽たす回収』を開発し提供を開始しました。既に提供している振込支払業務を代行するクラウドサービス『楽たす振込』や『楽たす給与振込』に加えて『楽たす回収』を開始することにより、お客様の振込・回収両面の業務効率化とコスト削減を支援します。さらに、AIを活用した仕訳・残高チェックシステム『MJS AI 監査支援』の開発を行いました。会計事務所向けERPシステム『ACELINK NX-Pro』と連携し、監査時間の短縮や業務の効率化などを支援することで、会計事務所における人手不足や働き方改革を支援します。その他、既存の製品・サービスの継続的な機能改良や新たな製品・サービスの研究開発に取り組みました。

以上のように、お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図るとともに、新規事業による新たな収益基盤の確立を目指し、更なる利益創出、企業価値向上に努めました。

このような事業活動により、当第2四半期連結累計期間における業績は増収増益となり、売上高18,825百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益3,876百万円（前年同期比30.7%増）、経常利益3,928百万円（前年同期比30.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,607百万円（前年同期比34.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の品目別の売上高は以下のとおりであります。

## (システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、Windows7のサポート終了を前にPC等のリプレース需要が高まり、前年同期比52.8%増の2,723百万円となりました。ソフトウェア売上高は、前年同期比15.4%増の7,141百万円となりました。ユースウェア売上高は、ハードウェアのキittingや設置等の需要が高まり前年同期比38.8%増の2,592百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比26.6%増の12,456百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

## (サービス収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比13.1%増の1,100百万円となりました。ソフト使用料収入は、前年同期比19.8%増の856百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、新規顧客の開拓に注力したことによりサービス契約社数が増加したため、前年同期比6.7%増の2,355百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は、前年同期比1.9%増の682百万円、サプライ・オフィス用品は、前年同期比9.5%増の351百万円となりました。

この結果、サービス収入の合計は、前年同期比9.4%増の5,346百万円となりました。

※「サービス収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やHW・NW保守サービス、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されています。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ370百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が2,071百万円増加し、現金及び預金が1,461百万円減少したことによるものであります。

固定資産は16,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円増加しました。これは主に無形固定資産が410百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、39,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ935百万円増加しました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円減少しました。これは主に買掛金が123百万円減少したことによるものであります。

固定負債は12,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円減少しました。これは主に長期借入金が222百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、19,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ597百万円減少しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は19,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,532百万円増加しました。これは主に利益剰余金が1,557百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.0%（前連結会計年度末は47.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,461百万円減少し、14,579百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,213百万円の収入（前年同期は1,790百万円の収入）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益3,910百万円、減価償却費668百万円がそれぞれキャッシュ・フローの増加要因となり、売上債権の増加2,071百万円、法人税等の支払1,176百万円がそれぞれキャッシュ・フローの減少要因となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,280百万円の支出（前年同期は2,172百万円の支出）となりました。

これは主に無形固定資産の取得による支出1,008百万円、有形固定資産の取得による支出301百万円がキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,394百万円の支出（前年同期は1,168百万円の収入）となりました。

これは主に短期借入れによる収入1,750百万円がキャッシュ・フローの収入となり、短期借入金の返済による支出1,750百万円、配当金の支払額1,047百万円がキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の『2019年3月期 決算短信』で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,271,372	14,809,517
受取手形及び売掛金	3,747,408	5,818,936
有価証券	100,000	—
商品	802,897	630,267
仕掛品	375,371	296,963
貯蔵品	31,732	28,222
その他	640,423	758,902
貸倒引当金	△7,132	△10,668
流動資産合計	21,962,073	22,332,142
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,888,567	2,888,567
その他(純額)	1,411,079	1,507,515
有形固定資産合計	4,299,647	4,396,083
無形固定資産		
のれん	25,931	22,881
ソフトウェア	2,253,717	2,685,656
ソフトウェア仮勘定	5,258,386	5,240,863
その他	5,944	5,288
無形固定資産合計	7,543,980	7,954,689
投資その他の資産		
投資有価証券	2,938,193	2,953,826
その他	1,435,488	1,481,567
貸倒引当金	△3,336	△3,313
投資その他の資産合計	4,370,346	4,432,080
固定資産合計	16,213,973	16,782,853
繰延資産	35,694	31,870
資産合計	38,211,741	39,146,866
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,324,592	1,201,526
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	552,000	450,000
未払法人税等	1,275,818	1,388,122
賞与引当金	778,073	679,534
返品調整引当金	38,885	26,176
その他	2,972,016	2,813,812
流動負債合計	7,491,386	7,109,170
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	11,051,333	11,045,833
長期借入金	1,542,500	1,320,000
退職給付に係る負債	16,746	16,691
資産除去債務	19,850	20,078
その他	31,435	44,042
固定負債合計	12,661,865	12,446,645
負債合計	20,153,251	19,555,816

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,198,380	3,198,380
資本剰余金	3,006,313	3,004,349
利益剰余金	14,983,897	16,541,466
自己株式	△3,962,853	△3,963,004
株主資本合計	17,225,737	18,781,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818,444	804,112
為替換算調整勘定	1,360	△339
その他の包括利益累計額合計	819,804	803,772
新株予約権	76	76
非支配株主持分	12,871	6,010
純資産合計	18,058,490	19,591,050
負債純資産合計	38,211,741	39,146,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,530,053	18,825,787
売上原価	5,356,439	7,291,316
売上総利益	10,173,613	11,534,470
返品調整引当金戻入額	69,839	38,885
返品調整引当金繰入額	61,065	26,176
差引売上総利益	10,182,388	11,547,180
販売費及び一般管理費	7,216,704	7,671,031
営業利益	2,965,683	3,876,148
営業外収益		
受取利息	3,114	8,031
受取配当金	15,760	19,978
受取損害賠償金	30,000	35,120
その他	42,562	12,507
営業外収益合計	91,437	75,637
営業外費用		
支払利息	11,996	7,842
持分法による投資損失	25,202	7,353
その他	3,582	8,139
営業外費用合計	40,781	23,335
経常利益	3,016,338	3,928,451
特別利益		
負ののれん発生益	15,832	—
特別利益合計	15,832	—
特別損失		
固定資産除却損	3,919	534
減損損失	218	17,420
投資有価証券評価損	55,037	—
その他	1,553	—
特別損失合計	60,728	17,955
税金等調整前四半期純利益	2,971,443	3,910,495
法人税等	1,022,895	1,307,773
四半期純利益	1,948,547	2,602,722
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,041	△4,519
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,944,506	2,607,242



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,948,547	2,602,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,165	△14,337
繰延ヘッジ損益	20	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,609	△1,700
その他の包括利益合計	△126,754	△16,037
四半期包括利益	1,821,793	2,586,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,817,688	2,591,209
非支配株主に係る四半期包括利益	4,105	△4,524

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,971,443	3,910,495
減価償却費	381,471	668,110
減損損失	218	17,420
のれん償却額	1,525	3,050
負ののれん発生益	△15,832	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△591	3,512
賞与引当金の増減額(△は減少)	△186,735	△98,539
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△8,774	△12,709
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△272	△54
受取利息及び受取配当金	△18,874	△28,009
支払利息	11,996	7,842
持分法による投資損益(△は益)	25,202	7,353
投資有価証券評価損益(△は益)	55,037	—
固定資産除売却損益(△は益)	3,919	534
売上債権の増減額(△は増加)	△498,932	△2,071,501
たな卸資産の増減額(△は増加)	△284,602	84,053
仕入債務の増減額(△は減少)	112,908	△123,066
その他	52,749	21,374
小計	2,601,856	2,389,867
法人税等の支払額	△811,540	△1,176,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,790,316	1,213,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120,071	△120,073
定期預金の払戻による収入	120,070	120,071
有形固定資産の取得による支出	△188,843	△301,237
無形固定資産の取得による支出	△1,893,536	△1,008,713
有価証券の償還による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	—	△49,909
投資有価証券の売却による収入	46,999	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	153,296	—
貸付けによる支出	△90,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△222,903	△33,658
利息及び配当金の受取額	18,735	22,978
その他	3,925	△10,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,172,327	△1,280,851
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,010,000	1,750,000
短期借入金の返済による支出	△3,000,000	△1,750,000
長期借入れによる収入	2,230,000	—
長期借入金の返済による支出	△214,295	△324,500
自己株式の取得による支出	—	△150
配当金の支払額	△841,050	△1,047,573
利息の支払額	△8,221	△8,144
その他	△8,266	△13,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,168,166	△1,394,016
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	786,154	△1,461,855
現金及び現金同等物の期首残高	6,290,363	16,041,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,076,518	14,579,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。